

第56回 守山市美術展覧会



6部門215点の力作一堂に 来場者は思い思いに鑑賞

市内外の参加者による日本画、洋画、彫刻、工芸、書、写真の6部門、計162点の力作の応募がありました。市展賞・特選などに輝いた作品や、無鑑査、審査員の作品と合わせて215点を展示。大勢の市民が会場を訪れ、ゆっくりと歩きながらお気に入りの作品の前で足を止めて筆づかいを確かめるなど、楽しみながら鑑賞していました。

10月4日～12日 | 市民ホール 小ホール、展示室

国スポ障スポ連動特別企画 もりやまのめぐみサイクリング



雨も、寒さも吹き飛ばせ 国スポ障スポ連動サイクリングツアー

わたSHIGA輝く国スポ・障スポに連動したサイクリングツアーが開催。あいにくの雨でしたが、国スポ正式種目のサッカー(少年男子)の試合会場を出発した参加者は、もりやまフルーツランド、BIWAKOモニュメント、河西いちご園など守山の観光名所を巡り、雨にかすむ湖岸の景色やスイーツの振る舞いなどを満喫しました。

10月4日 | 河西いちご園 など

笠原南遺跡発掘調査 現地説明会



弥生時代末～古墳時代初めの遺跡 野洲川下流域の暮らしや景観に思いはせ

発掘調査が行われている笠原南遺跡の現地説明会に、歴史愛好家など約130人が参加しました。弥生時代末～古墳時代初めの墓域(6基の周溝墓)や特殊な構造の掘立柱建物(祭祀空間)、灌漑排水路から水田が広がっていたことなどが説明され、参加者は往時の人々の暮らしや野洲川下流域の景観に思いをはせていました。

10月5日 | 笠原南遺跡

守山市民茶会



茶会のテーマは「一碗で平和を」 秋の気配を楽しみながら一服

大庄屋諏訪家屋敷で、茶道の関係者や一般市民などが茶席を楽しみました(主催:市茶道協会)。「一服の茶を飲んで平和な心になってほしい」と開かれた茶会では、茶席から見える庭園の景色や木々に秋の気配が漂う中、参加者がゆったりと静かな作法でたてた茶と茶菓子をいただき、穏やかな時間を過ごしていました。

10月5日 | 大庄屋諏訪家屋敷

守山市の人口

令和7年9月30日現在
(前月比)

人口	86,113 (+ 40)
男	42,340 (+ 5)
女	43,773 (+ 35)
世帯数	35,926 (+ 45)

もうすぐ街路樹は錦に染まり、わがまちにも美しいグラデーションの「錦秋」が訪れるはず▼特に心引かれるのは、甘々香ばしい黄金色、食卓の錦秋さつまいも。焼き芋やスイートポテトなど多様な食べ方があります。が、私のおすすめは大学芋です。甘いさつまいもに、甘い蜜をかけた大学芋は、まさに至福のおやつ。これに冷たいアイスをトッピングすれば、芋の甘さ、蜜の甘さ、アイスの甘さの三重奏、そのおいしさは格別です▼健康診断を控えている身としては、少々罪悪感も覚えるけれど、旬のものをおいしくいただくことは、心身にとって何よりの滋養だと勝手に思っています。秋の恵みに感謝して、それぞれのお気に入りの秋の味覚を心ゆくまで楽しみましょう。



朝晩冷え込み、深まりゆく秋を感じるようになりました。